

# ゴールデン・ウィーク特訓

4月29日(土)・30日(日)・5月1日(月)・2日(火)

WILL恒例の恐怖(?)のG.W特訓を下記の日程で実施します。昨年、経験済みの生徒の皆さんはご存知の通りですね。初めての生徒の皆さんは楽しみに(?)しててください。

「G.W特訓ってどんなことをするのか?」という皆さんに少しご説明します。

この期間を利用して、英語・数学の中間テスト範囲と既習事項の問題演習を、ひたすらやり続けてもらいます。ただひたすら、問題を解き続けます。ひたすら問題を解き続けて、最後に確認テスト。テスト合格者から順次終了となります。4日間で終了しなかった生徒の皆さんは、その後も塾へ来て、終了するまでやって頂きます。

実は、1学期のこの時期の基礎が、その学年のその後の学習に大きく影響します。5月以降の途中入塾の皆さんが伸び悩むのは、この学習をおろそかにしているからです。

WILLでは、とにかく基礎を徹底することで、その後の応用問題にも対応できるようになると考えています。クラブ活動等で忙しい生徒の皆さんもいらっしやるでしょうが、必ず終了するようにしましょう。

中3生	4月29日(土)	9:30~12:00 18:30~21:00	13:00~17:00
	4月30日(日)	9:30~12:00 18:30~21:00	13:00~17:00
	5月1日(月)	18:30~21:30	
	5月2日(月)	18:30~21:30	
中2生	4月29日(土)	9:30~12:00 18:30~21:00	13:00~17:00
	4月30日(日)	9:30~12:00 18:30~21:00	13:00~17:00
	5月1日(月)	18:30~21:30	
	5月2日(月)	18:30~21:30	
中1生	4月29日(土)	9:30~12:00 18:30~21:00	13:00~17:00
	4月30日(日)	9:30~12:00 18:30~21:00	13:00~17:00
	5月1日(月)	18:30~21:30	
	5月2日(月)	18:30~21:30	

## (注意事項)

- 4月29日(土)~5月2日(火)の中学生の夜の通常授業はありません。
  - 確認テスト合格者から随時終了となります。ただし、時間内に全課程終了しない生徒につきましては、特訓終了後も後日、塾へ来て全課程を終了するようにして下さい。
  - 当日、クラブの試合等で参加できない生徒につきましては必ず塾のほうへ連絡し、他の日程で必ず実施し、全課程を終了するようにして下さい。
  - 当日は英語、数学についての問題演習を行います。塾で使用している教材やノート、また英語の教科書等を持参するようにして下さい。
  - 特訓は長時間にわたって行いますので、飲み物等を持参しても構いません。また、昼食・夕食につきましては弁当を持参しても、自宅へ帰っても構いません。
- ※尚、G.W特訓の詳細、ルール等につきましては、当日ご説明します。

# 自習室を活用しよう

入試が終わり、受験生でいつもあふれていた自習室が、今は閑散としています。

宿題をしに来るだけでも構いません。自習室をどんどん活用してください。自習室には、様々な辞書や、はさみ・のり・ホッチキスなども備えています。それに、わからない問題を質問することもできます。家ではなかなか勉強がはかどらない生徒の皆さんは、特に自習室を活用するようにして下さい。

自習室は、皆さんの利用をいつも待っています。



## 『G.W特訓の意義』

—なぜ、G.W特訓を実施するのか—

### 1. 1学期の中間テスト範囲は最重要単元

いよいよ学校での新学期も始まりました。生徒たちは、大きな希望と少しの不安を抱きながらこの新学期を迎えていることだと思います。

さて、WILLでは学校よりひと月早く新学年の授業を始めています。そして、4月末よりG.W特訓が始まります。その目的の一つは、新たな学年のテストでより良いスタートを切ってもらいたいからです。そのために、十分な準備期間をとって、より多くの問題を解く時間を確保しているのです。



しかし、それだけではありません。各学年ともに、**1学期の中間テストの範囲は、その学年で学習する内容の基礎になっている最も重要な単元なのです。**言い換えれば、その範囲の理解が不十分であれば、それ以降に学習することが、なかなか理解しにくくなり、いくら時間をかけても成績が伸びにくくなるのです。WILLでは、開校当初よりそこに大きな重点を置いて指導してきました。

もうすでに経験している生徒たちからは、「恐怖のG.W特訓」などと言われることもありますが、決して生徒たちを苦しめようなどと思っているわけではありません。



例年、期間内にきっちり最後まで終了し、確認テストで合格点数をとっている生徒たちは、その学年のその後の学習が、比較的スムーズにいくことが多いのです。特に中3生につきましては、問題量も多く、厳しくチェックしていきます。ですから、中3生は例年、全生徒の成績が後々大きくアップすることにつながっていくのです(27年度卒業生は平均偏差値9アップ、28年度卒業生は平均偏差値8アップ)。

### 2. インプットとアウトプットの組み合わせが学力アップに

では、なぜG.W特訓でそれほどまでにたくさん問題演習をするのか?

まず、通常の授業時間において、しっかりその単元の説明をし、全生徒に十分に理解できるようにします。しかし、それはあくまでわかっただけに過ぎないのです。それだけでは決してできるようにはなりません。つまり、その単元をマスターしたことにはつながらないのです。

例えば、水泳を考えてみましょう。いくら本を読み、どのようにすれば上手く泳げるかを知り、だれかに説明してもらって、泳ぎ方を理解したところで、実際に上手く泳げるでしょうか?何度も何度も練習をして、徐々に上手く泳げるようになってくるのです。



**インプット(教えてもらって理解すること)と、アウトプット(何度も反復して、できるようになること)を組み合わせ、初めてその単元がマスターでき、テストの点数に結びついてくるのです。**

よく、インプット(わかった)だけでできたつもりになるのですが、それだけでは決して学力にはなりません。学力アップには、アウトプットをどれだけ行ったかがとても重要になるのです。

WILLの特訓は、アウトプットの練習を行う絶好の機会なのです。わずかな問題練習、時間では決して学力にはならないのです。

しかも、G.W特訓の問題は、必要な問題の質が高く、そして最低限の反復練習ができるように厳選されたものです。

生徒の皆さんは、G.W特訓は確かに大変ですが、そのことを十分に踏まえたうえで取り組むようにして下さい。

